

業務種別	ケア細目	業務内容
分娩時のケア	薬剤によらない産痛緩和ケア	身体のマッサージ、温電法、体位の工夫、温浴（浮力の利用）
	薬剤によらない分娩促進ケア	胎盤への血流保持ができる体位の工夫、体力維持のための栄養・水分補給、効果的な休息の促し
	産道損傷を防ぐケア	努責の調整、産婦の侵襲が少ない内診、会陰の温電法、会陰保護
	胎児の健康状態確認	胎児心拍数陣痛図の適切なチェック・必要時に超音波断層撮影も活用し、正常の確認。 逸脱の予想される状況では早めに高次医療施設へ相談。搬送を判断する。
	母体の健康状態確認	バイタルサインの確認、産痛緩和ケア、分娩時の静脈確保、産婦が身体を解放できるような場づくり。
	家族へのケア	家族が主体的に振る舞い、親子関係の確立が促されるような場の提供。